

2015年1月5日

都市を託される責任。



森トラスト株式会社

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 2-3-17
虎ノ門2丁目タワー
お問い合わせ先: 広報部
TEL 03-5511-2255 FAX 03-5511-2259

PRESS RELEASE

2015年 年頭所感
～これからの経営戦略～

森トラストグループ 代表 森 章

昨年12月の衆議院解散総選挙により、与党が圧倒的多数の議席を占めたことで、安倍内閣による国家の舵取りの基盤となる「黄金の4年間」ともいえる状況が整った。

日本は、戦後から続く諸制度の疲労や、70年代から続く戦略的選択と集中の視点を欠いた全国一律的な施策の失敗等により、医療・農業・雇用に岩盤規制が生じ、90年代以降25年に亘ってゼロ成長に陥っている。グローバル社会の中で相対的に地位を後退させた日本が、新たに成長に転じるためには、少子高齢化等の社会構造の変化を踏まえ、抜本的な構造改革を行う必要がある。

国家の指導者の取り組みが、国の浮沈を左右することは、世界の歴史が証明している。安倍内閣が、この黄金の4年間を活用し、「国家の設計士」として、グローバル社会に適合した新たな成長戦略を持ち、構造改革を実現していくことを期待する。

森トラストグループは、不動産開発事業において、虎ノ門・赤坂・三田で、総延床面積にして約50万㎡の開発プロジェクトを抱えており、都市の変化を見据えて次代に必要な都市資産を創造していく。また、円安・低金利を背景に、世界的に東京の不動産への注目が高まる中、当社が築いてきた堅固な財務体質を活用し、不動産投資分野での商機を取り込むなど、時流に合わせ、事業領域の拡大をはかっていく。

ホテル&リゾート事業については、観光立国の国策も背景に、中長期的な成長産業と位置付ける。本年春に開業予定の『翠嵐 ラグジュアリーコレクションホテル 京都』をはじめ、奈良への国際級ホテル誘致など、訪日外国人の増加や観光産業の振興に資するホテル事業を展開していく。

前回の東京五輪後の景気悪化など、五輪開催国の経済変動の歴史に鑑みると、長期的な展望の中では、2020年の東京五輪開催後に、経済の崖を迎える可能性を視野に入れる必要がある。当社グループとしては、そうした中でも企業としての持続的成長を維持すべく、2020年までの中期的な戦略として、事業を積極的に展開することで企業体力を蓄えていく。

国家的な転換期を迎える中、次代の日本や都市のあり方、グローバル社会における変化の流れを見据え、必要な都市資産を提供していくとともに、企業としても、社会・国家の変化に呼応できる柔軟な企業体質を構築していく。

以上